

第4回石川県教育工学研究会学習会

「課題解決学習を誘発する国際協働学習の在り方」

～学級づくり、教科指導を通して～

国連で提唱した ESD（持続可能な社会を支える担い手づくりの教育）のユネスコ世界大会が 11 月に日本で開催されました。PISA 調査（2012）では日本は学力では総合 1 位となりましたが、学ぶ意欲ではずっと下位に甘んじています。世界を意識しながら学ぶ国際協働学習は、ESD の柱でもあり、日常学習にリンクさせることで学習意欲を飛躍的に高め、学ぶ喜びを体感し、クラスのストーリーづくりに大いに役に立ちます。

日時 11月29日（土） 9時30分～11時30分 （9時より受付）
場所 金沢星稜大学 A24 （2階）

基調講演 「ESD と国際協働学習の関連および教育的価値について」
金沢星稜大学グローバル教育研究所 教授 清水和久（30分）

実践発表1 「アメリカとのアートマイル国際協働学習を通じた学級づくり」（15分）
11月10日に行われた ESD ユネスコ世界会議共催イベント ESD 交流セミナーにおいて、現文部科学省参与（元文部副大臣）鈴木寛氏に絶賛された実践。6年生の1年間の秀逸のストーリー展開を体感できます。（宝達志水町立樋川小学校 教諭 尾崎久美子）

実践発表2 「社会科 郷土の偉人たち を意識した台湾との国際協働学習」（15分）
台湾に烏山頭ダムを建設した金沢出身の偉人八田與一を学習材とした台湾の文雅国民小学校とのアートマイル国際協働学習。11月には台湾の文雅小からの訪問もあり直接交流もあり、児童の交流意欲はマックスに・・・（金沢市立米泉小学校 教諭 西野 聡子）

グループ討議（60分）
実践発表を踏まえ、国際協働学習を日常の学級づくりや、教科学習とリンクさせることによって、内発的動機づけを高める工夫について考える。
ストーリーの展開を体感できます。

申し込み方法 下記まで 学校名 氏名をお知らせください。当日も受付します

連絡先 kshimizu@seiryu-u.ac.jp
主催 石川県教育工学研究会
共催 金沢星稜大学グローバル教育研究所